



# すてい~る

## 目次

### ●特集 平成29年「新年賀詞交歓会」

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ●平成29年「新年賀詞交歓会」開催 .....              | 1   |
| ●各支部でも新年賀詞交歓会 .....                  | 4   |
| ●映画「たたら侍」の特別試写会開催及び映画館鑑賞前売券の販売 ..... | 6   |
| ●新支部紹介 中国支部 .....                    | 7   |
| ●いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—南海鋼材株式会社 ..... | 9   |
| ●理事会・委員会報告 .....                     | 10  |
| ●事務局だより・編集後記 .....                   | 裏表紙 |



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [info@zentokkyo.or.jp](mailto:info@zentokkyo.or.jp)

# (一社)全日本特殊鋼流通協会 平成29年「新年賀詞交歓会」開催



## さまざまな分野で変化著しい環境下で メーカーと流通の連携で特殊鋼業界発展に尽くすことを誓う

全特協では平成29年1月17日(火)、東京都新宿区の「グランドヒル市ヶ谷」で『平成29年新年賀詞交歓会』を開催した。来賓、正会員、賛助会員等約500名が参集した賀詞交歓会の冒頭で佐久間貞介会長(佐久間特殊鋼・代表取締役)は、社団法人認可より昨年で20年が経過したことを踏まえ、「この間インターネットの普及で産業構造が大きく転換した。IoT機能を有した商品の輸出やAIの進化で、ITによる労働力代替も試算されている。情報技術変化に対応するためには、有能な人材と知恵を結集し、新たな価値サービスのあり方を探ることが重要だ」として、シリコンバレーミッションへ参加する企業の紹介や「働き方改革」による生産性向上への取り組みをアピールした。

ご来賓を代表して登壇された山下隆也・経済産業省製造産業局金属課長は、

今年から本格化する過剰生産問題に関する中国政府との協議の場や、国際的な枠組みでのアンチダンピングやセーフガードへの対策を報告するとともに、下請取引ガイドラインの策定など国内商慣行の改善にも触れ、「働き方改革から賃上げを可能にし、成長と好循環を実現するよう取り組んでいきたい」と産業施策を解説され、その後、藤岡高広・特殊鋼倶楽部会長(愛知製鋼・取締役社長)のご発声で乾杯した。

さまざまな分野で変化著しい環境であっても、メーカーと流通が強調・連携することで一体となり、生産・品質・供給の各機能をより高めながら特殊鋼業界の発展に尽くしていこう、とする意気込みあふれる懇談の中

締めは、碓井達郎・東京支部長(碓井鋼材・代表取締役)があいさつに立ち、威勢のいい三本締めで盛会のうちに散会となった。



# 全特協会長 年頭のあいさつ

(一社)全日本特殊鋼流通協会 会長 佐久間貞介

## IT技術進展に対応しながら新たなビジネスを創出 有能な人材の活用と育成で業界に貢献する団体活動を



アメリカではトランプ新大統領が誕生し、今後その政権運営を注視していく必要があります。隣国の中国、台湾、韓国、北朝鮮、ロシアの動向に加え、英国のEU離脱交渉やイタリア、フランス、ドイツの大型選挙の動向等、今後EUはどのような様相を呈していくのか大いに関心を寄せるところで、世界情勢は昨年以上に『激動と激変』が起これるのではないかと危惧しています。

昨年の日本経済は、完全失業率は抑えられてきたものの国内総生産の成長率が低水準に推移するなど、景況感改善が感じられない一年でした。これに対し昨夏、安倍内閣は新三本の矢に続く政策「一体改革で成長につなげる経済対策」を掲げ、事業規模28兆1000億円にのぼる投資政策を打ち出しました。具体的には「働き方改革」や「産業構造改革」「インフラ整備」という経済対策です。

このような経済情勢や政治情勢の中、当協会としては、昨年より推進してきた製造業者と販売業者の相互連携をさらに推し進め強化します。これまで、さまざまな顧客ニーズに応じてきましたが、今後は特殊鋼業界がさらなる発展をしてゆくために改めて「製品・価格・流通・宣伝」の要素を俯瞰して、製造業者と流通業者が連携して

内外情勢の諸問題を解決していくことが重要です。そのためには、双方の垣根を越えて相互に知恵を出し合い、かかる問題を打開していくことが特殊鋼業界全体の発展に寄与できるものと考えています。さらに、特殊鋼業界の人材開発、および育成に力を入れてまいります。有能な人材を取り込み、そして育むことが業界全体の発展には欠かせないものであると考えています。

当協会は、昨年12月に社団法人認可より20年が経過しました。この間、インターネットが普及し、産業構造が大きく転換しました。現在、モノとインターネット(IoT)が、さまざまな業界において新たな機能を有した商品となって続出しております。さらには、人工知能(AI)の進化により、近い将来において日本の職業の半数近くがIoTとAIで代替可能になるという試算も出ています。このような情報技術(IT)の変化に対応し、グローバル社会の『激動と激変』に立ち向かうためには、新たな有能な人材を活用して知恵を結集し、従来の常識的かつ硬直的な枠組みから脱却し、新たな価値やサービスの在り方を探ることが重要であると考えています。今年には新たな試みとして、経済産業省主催のアメリカ・サンフランシスコのシリコンバレーミッションに、当協会の会員企業がエントリーしたところです。このミッションへの参加が実現すれば、シ

リコンバレーの最先端のものづくりベンチャー企業への訪問や意見交換を行い、そこで得た知見を活かしてロボットやAI、IoTを活用した事業展開や新ビジネスの創出などが期待されます。

先に述べました安倍内閣が最重要課題としている政策の一つに「働き方改革」があります。長時間労働の解消や同一労働・同一賃金は、最大の政策課題であるといわれていますが、当協会の会員企業においても長時間労働を解消すべく、特に、事務部門において究極の目的である生産性向上への取り組みを始めています。また、当協会では会員企業の職場の安全対策の支援として、平成20年より労働安全衛生法に基づく「玉掛け」「クレーン操作」の技能講習会を行うなど、会員企業の事故ゼロ職場への支援活動を続けています。それに加えて今年度は、リスクマネジメントの中でも緊急性の高いBCP(事業継続計画)対応への取組み支援も行っていきたいと考えています。

当協会が20年の節目を迎え、さらに全国組織として強固な団体として維持繁栄していくために、全8支部が丸一となって参加できるイベントも開催してまいります。会員が相互に協力し、さらに一体感を増して結集することで、団体を確固たる組織につくりあげたいと考えており、特殊鋼流通業界の発展のため引き続き、微力ではございますが努力してまいります。



# (一社)全日本特殊鋼流通協会 新年賀詞交歓会

平成29年1月17日(火) グランドヒル市ヶ谷

## ご来賓祝辞

経済産業省製造産業局 金属課長 山下隆也 様



### 海外の過剰供給問題や保護主義的な措置に意欲的に対応 下請取引の改善から成長と賃上げの好循環づくりに努める

昨年は中国の過剰供給問題に振り回され、鉄鋼業界全体が本当に苦しい年でした。昨年12月には、この解消について議論する場が立ち上がり、今年から実質的な議論がスタートします。中国の中央政府は有効な政策を地方政府にどう示し、実行してもらうか試行錯誤しつつも真剣に考えているので、日本の経験も提案しつつ是非、成果を上げていく1年にしたいと考えてい

ます。アンチダンピングやセーフガードといった保護主義的な措置が業界に蔓延していますが、これに対しては話し合いで解決できなければWTO(世界貿易機関)に持ち込むという姿勢を鮮明にしています。昨年12月にインドが行った全鋼販に対するセーフガード措置に対して意義を唱え、2国間の協議要請をしていますが、日本にとって満足いく結果が得られない場合はWTOに訴訟提起することにしています。国内問題では、成長と好循環を実現する上で欠かせない

下請取引の改善から賃上げに通じる取り組みも急がれます。1000社から回答を得た企業アンケートでは、手形と現金比率の問題や手形のサイト日数の問題、あるいは原材料高やエネルギーコストをちゃんと転嫁できないなど、業界のさまざまな問題が見えています。これについても、ガイドラインの年度内見直しや他省庁との連携を図りながら慣行改善に努めていきます。要請があれば経産省からも各種の説明にうかがいますので、是非ご相談ください。

## 乾杯ご発声

(一社)特殊鋼倶楽部  
会長 藤岡高広 様

### サプライチェーンの力を高め 「選ばれる特殊鋼」を目指して



昨年を振り返るとイギリスのEU離脱やアメリカのトランプ新大統領誕生など、大きな変化であるとともに今後の激動を予感させるできごとの多かった年だと思えます。そうした中、特殊鋼業界では円高に加え、鉄鉱石やニッケル原料の価格上昇などがあり、業績面も需要面もいまひとつ力強さに欠ける年でした。2017年はどうなるかは、予測は難しいところですが、自動車においては機構変化が必ず起きてくるでしょうし、ますます盛んとなる海外進出にメーカー再編もあります。そうした中で大切なのは、流通のみなさんと特殊鋼メーカーが力をひとつにして、いままで培ってきた品質面、生産面、安定供給面において力をしっかりと高め、選ばれる特殊鋼を目指してがんばっていかねばいけないと考えています。

## 中締めあいさつ

(一社)全日本特殊鋼流通協会  
東京支部長 碓井達郎

### 果実が熟し、勢いあふれる干支に あやかり、がんばりましょう



威勢のいい三本締めでご唱和ください。

酉年の今年は、ご承知のとおり丁酉(ひのととり)と申しまして、一説には果実が熟して最高の時を迎えるという年だそうです。皆様におかれましては、商売繁盛で利益を大いに取り込む年になりますように願いますとともに、さらに不死鳥のごとく健康で元気に一年を過ごしていただくよう祈念申し上げて、



# 各支部でも新年賀詞交換会

## 東京支部

開催日時：平成29年1月17日(火)  
開催場所：グラントヒル市ヶ谷

出席者：約500名  
(一社)全日本特殊鋼流通協会との合同開催

## 大阪支部

開催日時：平成29年1月5日(木)  
開催場所：リーガロイヤルホテル

出席者：約750名  
[大阪ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部大阪支部との3団体共催]

毎年恒例の参加者全員による国歌斉唱の後、3団体を代表して大前浩三(山陽特殊製鋼・取締役大阪支店長)特殊鋼倶楽部大阪支部長が「昨秋から景気の潮目も変わり、今年は自動車国内販売や建設機械、半導体やロボットの分野でも需要増の期待が膨らむ」などと力強い見通しを示しながらあいさつ。次に来賓を代表して丸山力・近畿経済産業局産業部次長が、全特協元会長の三上聰彦氏(ノボル鋼鉄・代表取締役)の昨秋の叙勲に祝辞を述べた後、賃上げや下請企業の取引条件の改善のほか大阪府が誘致を目指す2025年の万博開催へ向けた盛り上がりを要請し、平野有一・大阪府商工労働部商業・サービス産業課課長補佐が松井一郎・大阪府知事の祝辞を代読した。続いて登壇した久木田至(櫻井鋼鉄・代表取締役)大阪支部長は「熊本地震に始まりイギリスのEU離脱、小池都知事の頑張り、トランプ旋風、年末の糸魚川の大きな火事など昨年は激動の1年だった。ただ、経済は確実に回復基調にあると私たちも少し実感できるようになってきた。今年は運氣を取り込む酉年で、お客様のニーズを取り込むのがわれわれ3団体の目標。酉年にあやかり、羽ばたきたい。腰を落ち着け、来たるべきジャンプに備えましょう」とあいさつして乾杯した。参加者多数で活気にあふれる懇談会は、例年通り流れ解散でお開きとなった。



▲あいさつする大前特殊鋼倶楽部大阪支部長



▲あいさつする久木田支部長



▲3団体から750名が参加し熱気あふれる会場

## 名古屋支部

開催日時：平成29年1月6日(金)  
開催場所：名古屋観光ホテル

出席者：約430名  
[名古屋ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部名古屋支部との3団体共催]

冒頭、3団体を代表して樋口芳支部長(辰巳屋興業・取締役社長)があいさつに立ち「鋼材の値上げはユーザーとの兼ね合いで難しいところもある。双方がWin-Winの関係になることが前提である。流通としてはメーカーとユーザーの間に立ってうまく商売をしていく姿勢が大事」と述べた。続いて、来賓を代表して田島雅敏・経済産業省中部経済産業局産業部長があいさつした後、利光一浩(大同特殊鋼・名古屋営業部長)特殊鋼倶楽部名古屋支部長が乾杯の発声し、懇親会へと進んだ。中締めは、堀場昌治(リントツ・代表取締役社長)名古屋ステンレス流通協会理事長が行い散会となった。



◀(左から)あいさつする樋口支部長、田島部長、堀場理事長



◀乾杯する利光特殊鋼倶楽部名古屋支部長

## 東北支部

開催日時：平成29年1月19日(木)  
開催場所：仙台国際ホテル

出席者：61名

小室清志(藤田商事・執行役員東北支店長)の司会のもと、日下俊之支部長(クサカ鋼材・代表取締役)が「各社共通の課題である人材育成のために、当協会事業の柱の一つである特殊鋼販売技士制度を大いに活用していただきたい。20周年の節目の昨年に導入されたブロック制度の東日本ブロック(東京・北関東・東北の3支部)では、オール関東特殊鋼親善ゴルフ大会(東京支部主催)と富士重工工場見学会(北関東支部主催)を実施済みで、2月には台湾視察研修旅行(東京支部主催)も行われます。全国イベントのボウリング大会も支部として参加し、盛況に終わりました。今年も東日本ブロックと一体感のある協会運営を目指し、業界発展に協力していきたい」と新年のあいさつを行った。その後、来賓を代表して伊藤秀史・大同特殊鋼工具鋼営業部東京営業室長が挨拶され、乾杯発声は本郷貴之(ボーラ・ウッドホルム・東日本営業部エリアマネージャー)が務め、和やかな懇談が行われ、鈴木雅秀(アマダマシンツール・セールスマネージャー)の中締めで盛会のうちに散会となった。



▲あいさつする日下支部長



## 北 関 東 支 部

開催日時：平成29年2月19日(日)  
開催場所：伊香保温泉「ホテル木暮」  
出席者：17名

冒頭、鈴木至典支部長(鈴木機械・代表取締役)が「当協会の前身の北関東ハガネ商組合もあと2～3年で50周年になるが、当時安売り合戦の過当競争の中で発足し、時には取組み合いの喧嘩をやりながらも、懇親会ではうまく切り替えて和気あいあいと楽しむ会にしていった。最近は物が言えない会になってきたようだが、遠慮なくいろんな意見を交わす会でありたい。今年度の支部の事業に皆さんのご協力をお願いしたい。」とあいさつ。

伊藤秀史氏(大同特殊鋼工具鋼営業部東京営業室長)の市況展望の後、伊藤龍也本部長(小山鋼材・代表取締役)の中締めで散会した。



▲あいさつに立った鈴木支部長



## 静 岡 支 部

開催日時：平成29年2月16日(木)  
開催場所：静岡グランドホテル中島屋  
出席者：18名

原博康静岡支部長(東泉鋼機・代表取締役)の司会のもと、冒頭、同原支部長が、日頃より全特協静岡支部の事業活動に協力いただいていることに感謝を述べると共に、昨年の賀詞交歓会は自身が大病したことにより欠席をしたことに触れ、健康には留意するよう会員の皆さんへアピール。また、静岡支部における事業活動として、明後日から行う販売技士1級の構造用鋼の開催、3月に行う工具鋼の講座を開催する旨紹介され、さらに来年度においては、販売技士2級の開催を行う等、静岡支部として積極的に事業活動を行っていくとあいさつした。

次に、中日本ブロック長の佐久間貞介氏の代理として出席した宮崎義一専務理事の乾杯の発声により、終始和やかな雰囲気のもと歓談が進み、山内浩次事務局長(全特協名古屋事務局)の中締めで盛会のうちに散会となった。



▲あいさつする原支部長



▲乾杯の様子

## 中 国 支 部

開催日時：平成29年1月25日(水)  
開催場所：福山ニューキャッスルホテル  
出席者：33名

宇野将英副支部長(野村鋼機・広島支店長)の司会のもと、木村雅昭支部長(深江特殊鋼・代表取締役)が、「これからの時代は、今までより少ない人間、かつ少ない勤務時間で、今まで以上の利益を求められる。そのため、各社の自助努力に加えて、同業間の協力関係が求められ、全特協の役割が大きくなる」とあいさつ。続いて、福原實晴副会長兼西日本ブロック長(南海鋼材・代表取締役社長)が来賓あいさつを行い、新春卓話として林康一氏(大同特殊鋼・工具鋼部長兼工具鋼営業部長)が今年の展望と抱負を語った。その後、宇野伸一氏(山陽特殊製鋼・広島支店長)の乾杯で懇親会がスタートし、ホテル特製の料理と生演奏で大いに盛り上がった後、植田成人氏(佐藤商事・福山支店長)の中締めで盛会のうちに散会となった。



▲あいさつする木村支部長



▲生バンドの演奏で盛り上がる懇親会の模様

## 九 州 支 部

開催日時：平成28年1月6日(金)  
開催場所：ホテルオークラ福岡  
出席者：203名  
[九州ステンレス流通協会との共催]

愛知製鋼福岡営業所・中原所長の乾杯のあいさつで祝宴が始まり、終始和やかに懇談が行われるなか、全特協西日本ブロック長・福原實晴副会長(南海鋼材・代表取締役社長)の中締めで盛会の内に終わりました。



▲福原副会長による中締めで



奥出雲に1300年の時を経て伝わる製鉄技術「たたら吹き」を題材にした時代劇。

## 映画「たたら侍」の特別試写会開催及び映画館鑑賞前売券の販売

EXILE HIRO初プロデュース、錦織良成監督の最新作「たたら侍」が第40回モントリオール世界映画祭、＜ワールド・コンペティション部門＞にて、最優秀芸術賞を受賞しました。

「たたら侍」は今年5月20日に全国250の映画館で封切が予定されており、当協会が支援団体として参画し、同映画のエンドロールに当協会の名称及び寄付のあった会員会社名が掲載され、4月上旬に下記の当協会支部において特別試写会を開催することとなりました。ご希望者は申込書にて支部事務局に申し込んでください。会員の皆様やご家族・ご友人の皆様の越しをお待ちしています。

また、封切の映画館鑑賞前売券を1,000円/枚にて販売しますので必要枚数を本部事務局まで申し込んでください。（別添申込書を使用してください）

なお、「たたら侍」のポスター・チラシにて映画のPRを行うことになりましたので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 【試写会日程】

| 都市  | 日程      | 開場時間  | 開映時間  | 劇場名                  |
|-----|---------|-------|-------|----------------------|
| 東京  | 4月7日(金) | 18:40 | 19:00 | T・ジョイPRINCE品川        |
| 大阪  | 4月7日(金) | 18:40 | 19:00 | 梅田ブルク7               |
| 名古屋 | 4月5日(水) | 18:40 | 19:00 | ミッドランドスクエアシネマ        |
| 仙台  | 4月5日(水) | 18:40 | 19:00 | MOVIX仙台              |
| 広島  | 4月2日(日) | 13:30 | 14:00 | 福山駅前シネマモード           |
| 福岡  | 4月6日(木) | 18:40 | 19:00 | ユナイテッド・シネマキャナルシティ 13 |

### 【見どころ】

見どころの一つは、出雲の地での本格的なたたらの村のセットでは、専門家の指導のもと実際にたたら吹きを行い、日本刀の素材となる玉鋼の製作にも成功したというから、文字通り本物の映像が期待できそうだ。侍の魂ともいわれる日本刀。その最高峰の素材・玉鋼を生むたたら吹きを通して、文化とともに受け継がれる日本人の魂を感じ取る。

### 【あらすじ】

戦国時代中世の奥出雲の村で、名刀を生み出す鉄・玉鋼(たまはがね)をつくる技術「たたら吹き」を継ぐことが宿命づけられている青年が、一心に仕事に励むだけの父に反発、侍に憧れて村を出て行く。しかし、現実は一筋、村を出たことを後悔していると、旅の途中で日本刀に秘められた凄さを知る。帰村し、争いに巻き込まれながら父からたたら吹きを受け継ぎ、匠の技で玉鋼を作り出す父の姿こそ真の武士の姿だと気づく。日本が誇るモノづくりに技術だけでなく、郷土愛、鉄作りに目覚め製鉄技術を守る決意をする。武士道に通じる精神世界をも描く物語である。

### 【エグゼクティブ・プロデューサー】

EXILE HIRO

### 【監督・脚本】

錦織良成

### 【キャスト】

青柳 翔／小林直己／田畑智子／石井杏奈／高橋長英／甲本雅裕／  
宮崎美子／品川 徹／でんでん／氏家 恵／橋爪 遼／安部康二郎／  
菅田 俊／音尾琢真／早乙女太一／中村嘉葎雄／佐野史郎／豊原功補／  
AKIRA／山本 圭／笹野高史／奈良岡朋子／津川雅彦 他



### 支店長・所長中心で自由闊達な雰囲気 「よく学び、よく交流し、互いに成長する」をテーマに事業を企画

#### 地方にも均等なサービス提供で 全国組織としての充実を図る

中国地方に本社や営業拠点を置く15社16事業所がまとまり、2015年5月の発会式から翌年6月の事業予算化を経て正式に発足した中国支部。実質的な活動開始から1年が経過し、新支部としての体制はどのように整ってきたか。また、どのようなカラーで支部として今後の方針を打ち出していくのか。発会式以来、牽引役を務める木村雅昭支部長と、それをサポートする宇野将英、増田厚子の両支部長に中国支部の現状をうかがってみた。

**木村** 全特協を全国組織として実質の伴った団体としなければならない。そんな協会としての使命感の取りかかりとして中国支部は発足した。全国組織にこだわるのは団体と



**宇野将英・副支部長**  
**野村鋼機(株)広島支店支店長**

東京都出身。平成16(2004)年3月野村鋼機(株)入社。東京本社勤務を経て2011(平成23)年8月広島支店に異動。転勤に合わせ妻子も福山市に引っ越す。平成27(2015)年5月中国支部副支部長に就任。

してのステータスもあるが、全国どこでも同じ会員サービスを受けられないといけない。たとえば、支部のない地方に転勤したら資格認定試験を受けられないというのでは、同じ業界団体に属する会員として公平でない。そうした機会均等なサービスを提供する、という思いが強かった。

中国支部の特徴は、初めて協会中枢がスポンサーとして立ち上げた支部だということがあげられる。古くから各地に存在していたハガネ商組合等が母体となって全特協に発展したのと異なり、会員拡大を目的に大阪支部(関西ブロック)が主体となって入会を募ってきたからだ。

**木村** 協会副会長でもある大阪の福原さん(南海鋼材社長)が広島地区の未加入企業を勧誘したので、長年のしがらみがある地元メンバーが声をかけあうより集まりやすかったのは確か。おかげで、地元の誰かが発起人だという色合いもあまりないと思う。

中国支部、もうひとつの特徴は正会員で地場のオーナー企業は木村支部長の深江特殊鋼1社だということもあげられる。

**木村** この点は、会員構成の今後の課題でもあるが、逆に広島地区の支店・営業所である支部会員が主体となっている現状は、地場オーナー同士のしがらみを感じさせない自由闊達で親しみやすさにもつながっている。

副支部長の宇野氏は広島に着任して6年、増田氏は地元採用で2015年に所長に昇格した地元生え抜きだ。

**宇野** 他の支部会員には、異動のある支店長・所長という方もありますが、拠点立上げのときからの、いわゆる“一国一城の主”という方もおられ、支部内では同業同士の協調重視



**木村雅昭・支部長**  
**深江特殊鋼(株)代表取締役**

昭和57(1982)年4月大同特殊鋼(株)入社。平成2(1990)年9月深江特殊鋼(株)入社。平成13(2001)年11月全特協・青年部会初代部会長就任。平成25(2013)年5月深江特殊鋼(株)代表取締役社長就任。平成27(2015)年5月全特協・中国支部支部長に就任。

のビジネススタイルを意識されている方も多い。

**増田** 中国支部立上げ以前は、メーカー主体の交流会などはあったが、それ以外で人脈を広げるのは大変。メーカー系列にとられない地域包括的な同業者の交流や情報交換が一気に広がったのは中国支部のメリット。

#### 研修制度への会員ニーズは高く サービスの中核として充実を目指す

支部発足後もメンバーの勧誘は積極的に行っている。支部発足時、深江特殊鋼は福山本社だけだったが、広島と岡山の両支店を加入させ、井上特殊鋼も岡山営業所を加えた。さらに、この春から、すでに大阪支部正会員である大博鋼業の福山営業所が支部会員となり、アマダマシンツールが賛助会員となることになっており、



支部会員拡大も順調だ。

**増田** 資格認定試験を受けたいというニーズは未加入企業にも多い。まだまだ呼び込みの余地はありそう。

**木村** やはり、研修制度に対する関心は高い。大阪や東京など本社から地方に来て、研修から縁遠くなることへの焦りがあるのだろう。均等な会員サービスは支部発足、そして協会全国拡大の目的でもある。来期は特殊鋼販売技士3級講座の実施を確実にやりたい。

**宇野** 毎年3級・2級・1級と3年サイクルで実施できると理想的。あとは昨年実施済みの特殊鋼販売加工技士・基礎編のステップアップである上級編も実施したい。

**木村** 広島・福山・岡山と広範囲からの参加者に、どう負担少なく受講してもらうか工夫することも重要。その意味では、将来のWeb受講システムを本部と共に検討しはじめてもよいころだと思う。地方支部の活性化と拡大には不可欠のテーマだと考えている。

#### 会員へのメリット提供を最大限に

#### 支部役員一丸となってアイデアを

**木村** 広島支部のテーマは「よく学び、よく交流し、互いに成長する」かな、と考えているがどうだろうか？

**宇野** 研修制度の着実な実施は活動

の基本として、その中でも小まめな懇親を持つことは絶対に必要。社長や支店長・所長クラスだけでなく、社員の皆さんにも気軽に参加できる勉強会やイベントを提供していきたい。昨期は団体チケットが確保できなかった広島カーブ観戦を、今期は是非実施したいところ。

**増田** カーブ観戦はみんな意気込んで参加するはず。また、営業系の役職者に女性が目立ち始めているのは広島地区でも同様なので、ビジネス講座などの実施で女性社員も対象にした社員研修と交流会を活発にしたい。

**木村** 先日の賀詞交歓会では大同特殊鋼の林部長に卓話をお願いした。今後も機会を捉えてメーカーの部門長クラスを招いた講演会・勉強会も積極的に行っていきたい。地方でこうした機会は少ないので興味を持って参加してくれる。やはり、みんなが入会して参加したくなるような役立つ会に提供しなければと思う。楽しくて勉強になって情報交換でき、おまけに商売につながるというメリットある会にしたい。

**宇野** 支部発足までは、競合相手といっても、多分に“見えない敵”だった。なんとなく牽制し合っている感じ。それが、お互いに顔を合わせて情報交換や交流をすることでお互いの商流も気持ちも理解できるよきライバル関係になってきたのは大きなメリット。

**木村** 将来的な夢としては東南アジアなどに支部で2泊3日程度の視察研修を行いたい。支店長クラスだけでなく地元採用の営業マンなど、本部のミッションに参加機会が少ない人材向け。現場第一線の社員に海外情勢を見てもらうことは



1月25日、福山ニューキャッスルホテルで催された平成29年中国支部新年賀詞交歓会。

刺激になるはず。

**増田** 海外ミッションは“協会として地方にもメリットを”ということでは最高のイベント。是非実現したい。

**宇野** あとはお隣の九州支部との共催事業。合同での工場見学会も実現できればと思う。

**木村** 構想は尽きないが中国支部は副支部長が優秀なので助かっている。将来的には支店長・所長が支部長を務められる体制も構築しないといけないと考えている。そのための支部事務局体制のあり方など、取り組むべき課題も多い。支部会員だけでなく関西ブロックや協会本部の助言、お力添えも賜りたい。是非、今後とも中国支部をよろしく願っています。

#### 中国支部会員名簿(50音順)

| 会員区分    | 会社名                  |
|---------|----------------------|
| 会員      | 井上特殊鋼(株) 広島営業所       |
|         | 〃 岡山営業所              |
|         | ウメトク(株) 広島営業所        |
|         | (株)カムス 広島出張所         |
|         | 小山鋼材(株) 広島営業所        |
|         | 大同DMソリューション(株) 広島チーム |
|         | 大博鋼業(株) 福山営業所        |
|         | 南海鋼材(株) 広島事業所        |
|         | 〃 福山営業所              |
|         | 野村鋼機(株) 広島支店         |
|         | 日立金属工具鋼(株) 西日本支店     |
|         | 深江特殊鋼(株)本社 広島支店 岡山支店 |
|         | 陽鋼物産(株)西日本支店         |
| 賛助会員    | (株)アマダマシンツール 広島店     |
|         | 岡谷鋼機(株) 中国支店         |
|         | 鎌田特殊鋼(株)             |
|         | 佐藤商事(株) 福山支店         |
|         | 山陽特殊製鋼(株) 広島支店       |
| 日鐵鋼業(株) |                      |

17社21事業所



#### 増田厚子・副支部長

#### 南海鋼材(株)広島事業所所長

島根県出身。平成14(2002)年11月南海鋼材(株)広島営業所入社。平成27(2015)年7月広島事業所所長就任。平成27(2015)年5月中国支部副支部長に就任。

# [シリーズ連載] 第12回 南海鋼材株式会社 いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

国内の消費不振に加えて輸入鋼材の調達が一般化するなど、特殊鋼の国内需要が頭打ちとなる中、ここ数年来の為替変動リスクにも対応するため、自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産シフトが続いている。そうした背景から、総合商社だけにとどまらず特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点展開することが顕著になっている。シリーズ第12回は、特殊鋼加工流通業の南海鋼材の上海現地法人「南海岡谷模具」の福原千晶・総経理にお話をうかがってみた。



南海岡谷模具(上海)有限公司  
総経理 福原千晶氏

## 現地調達ニーズの対応から国内新規取引など波及効果も 国内・海外連携で企業グループ価値向上を目指す

### ユーザーの現地調達志向を背景に 岡谷鋼機と合併で生産拠点を開設

南海鋼材(本社・大阪府堺市、福原實晴社長)が、中国・上海に初の海外進出となる現地子会社「南海岡谷模具(上海)」を設立したのは2013年11月。その設立にあたっては、取引商社の岡谷鋼機と合併で投資を行い、上海市南駅に近い閔行区に約730m<sup>2</sup>の工場を取得し、NC旋盤2台にマシニングセンターと高速マシニングセンターを各1台設置。金型用鋼の切削加工をメインに2014年3月より操業を開始した。

中国進出を決めたのは、それまで現地の日系法人向けに南海鋼材本社からユーザーの国内拠点を通じて金型等の製品を輸出していたものの、現地調達志向が高まってきたことから中国に生産拠点を設けて対応する必要性が生じたからだ。

「上海は各ユーザーの生産工程の中間に位置している上、国内外への移動が便利で人材も集めやすかった」と、南海岡谷模具の総経理を務める福原千晶氏(南海鋼材取締役)は上海進出の背景を説明する。用地取得や同社設立までは岡谷鋼機が担当し、その後の加工設備の輸入申請や据付け、現地スタッフの採用などを南海鋼材が担当するというJV方式を採用した。

社員は福原総経理のほか9名で、設立時に採用した総務兼通訳の女性スタッフは各種行政手続きから顧客営業など、操業まで総経理を支えた現地法人の功労者だ。ほかに生産管理兼営業アシスタントと品質検査、経理事務が各1名に、加工スタッフ4名、デリバリー1名で、加工と配送以外の管理・事務系スタッフはすべて女性という布陣だ。

「この業界でも、中国は購買セクションはじめ女性比率が高く、当社のスタッフも非常に意欲的。技術スタッフも勉強熱心で短期間で技術習得してくれ、短納期対応など急な残業でも積極的に協力してくれます」と、人材力には自信をのぞかせる。

### 高品質ニーズをクリアするため 入念な試作対応を経て量産化を

操業当初の苦心したエピソードとしては、

「設備導入から約1年間は試作品の製作を繰り返す期間だった」と福原総経理。納入先は日系を中心とした自動車部品関連で、南海鋼材がこれまで培ってきた素材と加工の知識を生かし、高精度加工や長寿命化という信頼性の高い金型を提供することがミッションである。そのため、顧客にはさまざまな材料をテストしてもらいながら量産化を決定していく。

「試作品はオーダーが入るまでに1ヶ月、その製作に1ヶ月、テストから特殊鋼メーカーの解析の結果がでるまで数ヶ月。これを何度か繰り返せば、量産開始まで1年以上。現地では日本人が購買権を持っているわけではないため、新規参入で新しい材料・製品を納入するため性能チェックは当然の手順となる」との説明通り、2014年はおおむねこの試作期間で終始した。

その間、営業アシスタントとともに客先を回りながら、品質等の問い合わせは本合金型センターで設計から加工、検査まで、生産管理をひととおり経験済みの総経理が対応しながら2015年にかけて量産品の受注を増やしていった。

「当初見込みの売上が立ってきたのは量産型の製品が増えた2016年になってから。試作期間中といえども時間を無駄にはせず、スタッフ教育に十分な時間を割けたことが本格操業後の現在に生きている」と福原総経理は手応えとともに振り返る。

### 南海グループとしての価値高まる 国内・海外の相互連携強化が目標

南海岡谷模具の今後の展開は「機械設備等、大がかりな追加投資をすることは基本的には考えていない。オーダーが増えた場合は、加工協力先と組むことで業務をこなしていきたい。南海鋼材としては量の拡大追求よりも、品質管理に重きをおきたい。日系の現地加工会社としてユーザーから求められているのは、安全・安心なモノを保証して提供することと考えているので、投資するなら人材教育や検査機器の充実など品質管理の機能を高めていく。作るだけでなく、検査・保証の能力を高めて仕事をこなすのが方針」と品質へのこだわりを強調する。

昨年下半年から進出時に想定していた収益を確保するようになり、「親会社への数字的な貢献はまだまだ」と気を緩めない福原総経理だが、中国での取り引きをきっかけに、これまで縁がなかった日本でのユーザー取り引きが始まった例もあるなど、海外ビジネスからの波及効果は実感しているという。

「中国拠点の事業基盤を高めつつ、本社との相互連携強化が海外ビジネス4期目以降の目標」と抱負を語る。「日本各地と上海に事業所があることで『南海に声をかければどちらでもつなげてくれる』と言う評価が高めれば、企業グループとしての価値も高まるはず」と、福原総経理は目を輝かせる。



「勉強熱心で何ごとにも意欲的。共に向上心を持って取り組める仲間です」と福原総経理が目を通す南海岡谷模具の全スタッフ。

# 理事会・委員会報告

## ■運営委員会

### ○第15回運営委員会

日時：平成29年1月17日(火)15:30～17:00

於：グランドヒル市ヶ谷「翡翠の間」

- 内容：1. 平成29年度の事業方針と同年度の予算について  
2. (一社)全日本特殊鋼流通協会の収支改善(案)策定プログラムについて  
3. 当協会《支援》の映画「たたら侍」のタイアップについて  
4. 支部報告、委員会報告  
5. その他(次回運営委員会、理事会の日程、三上元会長の叙勲祝賀会の案内等)

## ■人材育成委員会

### 【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

#### ○第6回教材レビューワーキンググループ

日時：平成28年11月30日(木)13:00～16:00

於：安保ホール

- 内容：1. 第5回教材レビュー WGの議事録報告について  
2. 平成28年度人材育成事業日程及び支部別年間予定表について  
3. 第11回人材育成委員会議事録報告について  
4. 特殊鋼販売技士1級指導要領データのメンテ作業について  
5. 次回開催日程について

#### ○第7回教材レビューワーキンググループ

日時：平成28年12月15日(木) 13:00～16:00

於：安保ホール

- 内容：1. 第6回教材レビュー WGの議事録報告について  
2. 特殊鋼販売技士1級指導要領データのメンテ確認について  
3. 来年度以降の指導要領データメンテナンスの枠組みについて  
4. 次回開催日程について

#### ○1級講師事前打合せ

日時：平成29年1月13日(金)15:00～16:30

於：大阪・鐵鋼會館

- 内容：1. 平成28年度人材育成事業実績見込について  
2. 平成29年度の事業日程について  
3. 平成28年度特殊鋼販売技士1級研修講座について

#### ○1級問題選定会議

日時：平成29年2月14日(火)15:00～16:30

於：安保ホール

- 内容：1. 特殊鋼販売技士1級検定試験問題について  
2. 事務局よりの連絡事項

## ■調査研究委員会

### ○第15回調査研究委員会

日時：平成28年11月28日(月)15:00～17:00

於：鉄鋼会館

- 内容：1. 第79回(7-9月)景況アンケート調査報告  
2. 第80回(10-12月)景況アンケートの設問について  
3. 統計調査のメール配信化について  
4. 景況アンケートのメール配信化について  
5. 第15回経営環境等に関するアンケートの設問について  
6. 平成29年度事業計画案及び予算案の考え方について  
7. 次回委員会日程について

## ■内外交流委員会

### ○第7回内外交流委員会

日時：平成28年12月8日(火)17:00～20:00

於：名古屋・木曽路6F会議室

- 内容：1. 平成28年度事業実績見込みについて  
2. 平成29年度事業計画(案)及び予算(案)の考え方について  
3. 次回委員会について

## ■経営効率化委員会

### ○第9回経営効率化委員会

日時：平成28年12月1日(木) 17:00～20:00

於：名古屋駅前会議室

- 内容：1. 前回の経営効率化委員会議事録報告について  
2. 大阪支部「ビジネススクール」内容・成果報告について  
3. 全国イベント「第1回全特協全国ボウリング大会」の結果報告について  
4. 次回委員会について

## ■広報委員会

### ○第9回広報委員会

日時：平成29年2月16日(木)14:15～16:45

於：広島・深江特殊鋼会議室

- 内容：1. 広報誌「すていーる61号」の記事校正確認等について  
2. 広報誌「すていーる62号」の記事内容等について  
3. 平成29年度事業計画案及び予算案の考え方について  
4. 映画「たたら侍」のポスター・チラシ配布、特別試写会の募集、前売券の販売について

# 事務局だより

## 1 定時総会の開催について

今年の定時総会は6月に神戸にて開催を予定しております。総会の後に行われる講演会は、吉本興業所属の『エド・はるみ』をお迎えして開催することになりました。

改めて会員の皆様にはご案内いたしますが、揃ってご参加くださいますようよろしくお願い致します。

- (1) 日程及び場所：平成29年6月5日(月) 於：ホテルオークラ神戸、(2) 第5回定時総会、(3) 講演会、(4) パーティー  
(5) 翌日(6月6日)には神戸観光または懇親ゴルフ会(関西ゴルフ倶楽部)を予定しております。

## 2 特殊鋼販売技士「入門編」及び「3級」の研修講座開講について

### (1)「入門編」研修講座

毎年年度初めの時期に、特殊鋼販売技士研修制度のスタートとして「入門編」の研修講座を実施しております。

平成29年度も下記の支部にて開講を予定しておりますので、奮って受講下さるようお願い致します。

「入門編」の研修内容は、特殊鋼を学ぶために必要な金属(鉄・非鉄)の基礎知識で、受講資格は特殊鋼に関心のある者となっております。学歴・性別・年齢などは問いません。講座時間は6時間となっております、1日で修了します。

あらためて各支部事務局より開講のご案内を致しますので、受講される方は開講予定の各支部事務局へ申し込んでください。

| 開講支部名 | 開講日           | 会場      |
|-------|---------------|---------|
| 東京支部  | 平成29年4月18日(火) | 東京・鉄鋼会館 |
| 大阪支部  | 平成29年4月12日(水) | 大阪・鐵鋼會館 |
| 名古屋支部 | 平成29年4月19日(水) | 東桜会館    |
| 九州支部  | 未定            | 未定      |

### (2)「3級」研修講座

また、5月中旬～7月に掛け各支部に於いて「3級」講座を開講する予定です。

研修内容は特殊鋼の基礎知識で、構造用鋼、工具鋼、ステンレス鋼などを30時間の講座にて習得した後、全国一斉に検定試験を実施(7月5日)する認定制度になっております。

「3級」講座につきましても受講資格は特殊鋼に関心のある者となっております。学歴・性別・年齢などは問いません。各支部より改めて開講のご案内をいたします。詳細につきましては各支部事務局にお問い合わせください。

## 3 「東京マラソン2017」に事務局伊藤氏が出場し完走しました

2月26日東京マラソン2017に出場した本部事務局の伊藤氏が初フルマラソンで見事5時間3分48秒順位18318位にて完走しました。

ユニフォームはGiantsTシャツをはじめ靴まで巨人カラーに統一し沿道から「Giants頑張れ」と応援され、また「4月1日ははがねの日」「日本記念日協会に登録」の記載されたセントクマンのゼッケンを背中につけアピールしていました。

今話題の小池百合子東京都知事の号砲のもと約3万6千人がスタートを開始し、事務局では宮崎専務理事をはじめ事務局の同僚、特殊鋼倶楽部さんなどが茅場町、日比谷、丸の内中通りで応援しました。

優勝したケニアのウイリソンとはちょうど3時間差がありましたが、本人は「2時間3分台の選手と同じ大会に出場でき、また完走できたことは大感激。しかし狙っていた「サブ5」が達成できずちょっと残念」とコメントしていました。



▲小池東京都知事



▲都庁スタート



▲ゴール迄あと1km

## 編集後記

すてぃーる61号を発行致します。今年の冬は穏やかな正月から一変して後半北日本での豪雪で大変でした。

皆様に、今号が届くころは櫻の声も聞こえはじめていでしょう。穏やかな春だといいいのですが、酉年の今年は米国のトランプ旋風が吹き荒れ、欧州ではイギリスの問題、中東問題、ロシアの政策、中国北朝鮮事件など世界中を騒がせました。

日本は比較的円安、株高が継続してアベノミクスが安定しているようです。

特殊鋼業界も少し光がみえてきました。皆様腰を据えて来たるべき好景気に備えましょう。

さて今号は各地で開催された賀詞交歓会の模様を中心に お伝えしております。御拝読ください。

今年の全特協全国総会は神戸開催です。奮ってご参加ください。

会員の皆様と御家族の御健勝を祈念しております。

今年も全特協を宜しく願います。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／久木田 至